

2021年12月26日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第64巻第39号(通算3267号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう 週報

教会標語

かみさま ひと とち
神様がすべての人と共に
あかし きょうかい
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人がみな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

さいまつれいはい こうたんせつだい しゅじつれいはい 歳末礼拝 (降誕節第1主日礼拝)

れいはい ちゅうけいはいしん
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしやうめつ
前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば ふくいんしよ しょう せつ
招きの詞 ヨハネによる福音書 15章 5節

さんびか ねんぱん ばん な かね ね ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 (1954年版) 410番「鳴れかし鐘の音」(©著作権消滅)

さいまつ もくそう いちねん ふ かえ
歳末の黙想 「この一年を振り返って」

ほん とち いの こうしやう
(7本のロウソクと共に) お祈りとリタニー (交唱)

よ ちから ばん きやうだんしゅつぱんきよく
「善き力にわれかこまれ」(21-469番) (©教団出版局)

さんびか かいていばん ばん きやうだんしゅつぱんきよく
賛美歌『こどもさんびか改訂版』99番「ふるいものはみな」(©教団出版局)

しゅ いの
主の祈り

たんじやうしやしゅくふくしき
誕生者祝福式 (*)

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

ささげもの
献げ物 (**)

は け ん ばん かみ めぐ う せつ
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく うしだ ただし ぼくし
祝福 牛田 匡 牧師

こうそう ばん きやうだんさんびかいいんかい
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讃美歌委員会)

ほうこく ページ さんしやう
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* みんなで 12月生まれの方 (と今年度12月までにお生まれの方) を祝福
いたします。ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

** 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

^{まね}招きの^{ことば}詞 ヨハネによる福音書 15 章 5 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

私はぶどうの木、あなたがたはその枝である。人が私につながっており、私もその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。

この一年を振り返って (歳末の黙想)

◆はじめに

司式者 全てを創られた神と、全てを大切にされるイエス・キリストと、全てを守られる聖霊と共にあって、アーメン。

年の瀬のこの礼拝を、「私は世の光である」(ヨハネ 8:12) と言われる方と共に祝いしましょう。私たちがこの方の光の中に生かされている、ということをお願い起しましょう。

この一年の間に私たちが経験したことを全て、神様の前に持ち来たり、この方の光の前に、私たちの全てを差し出しましょう。

クリスマスの夜は、大いなる神の愛が私たちに示された夜です。クリスマスに人間となった神は、この世界の暗闇に光をもたらしました。

(中央のろうソクに火を灯す)

司式者 新しい年を迎えるにあたり、過ぎゆく年を省みましょう。

この一年は、どのような年でしたでしょうか？

何かし残したことはありますか？

どのような経験をしたでしょうか？

またその経験は、私にとって無くてはならないものでしたでしょうか。

新しい年を迎えるにあたり、ろうソクを灯し、過去のことを振り返り、自分自身の、また私たちの過去の記憶を呼び起こします。

◆お祈り

神様、私たちは祈ります。

私たちが、命の源である、この世界と私たちをお造りになったあなたへと立ち帰ることができますように。そしてこの社会の中の様々なひずみが癒されますように。また私たちが、あなたが望んでおられるように、より人間的になることができますように。私たちをあなたから引き離したり、お互いに見知らぬものとしたりする力から、私たちを助けてください。

全てのものを守られる聖霊によって、私たちを隣人と共に生きる者としてください。アーメン

◆リタニー（交唱）

（1本目のろうそくに火を灯す）

司式者 このろうそくに火を灯し、今年これまでに新たに誕生した命、子どもたちのことを思い起こします。

すべての子どもが大切にされ、守られて成長することができますようにと、この光はわたしたちを照らします。

神はこのように言われました。

「恐れるな。私があなたを贖^{あがな}った。／私はあなたの名を呼んだ。

あなたは私のもの」（イザヤ書 43章1節）

（黙禱）

賛美歌「善き力にわれかこまれ」（『讚美歌21』469番）1節

1 善^よき力^{ちから}に われかこまれ 守^{まも}りなぐさめられて、
世^よの悩み^{なや}み 共^{とも}にわかち、 新^{あたら}しい日^びを望^{ぼう}もう。

（2本目のろうそくに火を灯す）

司式者 このろうそくに火を灯し、今年これまでにパートナーとして共に生きる新たな歩みを始めた方々、何年、何十年という記念の年を迎えた方々のことを思い起こします。

この光は、彼らが共に生きる幸せを照らします。

互いの習慣を変える勇気を認め、困難な時にもお互いを支える強さをたたえ、お互いに堅い信頼を抱くことができるようにと。

「神は愛です。愛の内にとどまる人は、神の内にとどまり、

神もその人の内にとどまってくださいます」

（ヨハネの手紙一 4章16節）

（黙禱）

賛美歌「善き力にわれかこまれ」（『讚美歌21』469番）2節

2 過^すぎた日^ひ々の 悩^{なや}み重^{おも}く なお、のしかかる時^{とき}も
さわぎ立^たつ 心^{こころ}しずめ み旨^{むね}にしたがいゆく。

（3本目のろうそくに火を灯す）

司式者 このろうそくに火を灯し、今年これまでにこの世を去った方々、私たちがその死を悼む方々のことを思い起こします。

この光は、永遠の故郷へと至る、その方々の道を照らします。

「私たちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬるとすれば主のため

に死ぬのです。従って、生きるにしても、死ぬにしても、私たちは主のものです」(ローマの信徒への手紙 14章8節)

(黙禱)

賛美歌「善き力にわれかこまれ」(『讚美歌21』469番)3節

3 たとい主^{しゅ}から 差し出^さされる 杯^{さかずき}は苦^{にが}くても、
恐れ^{おそ}ず、感謝^{かんしゃ}をこめて、 愛^{あい}する手^てから受け^うけよう

(4本目のろうそくに火を灯す)

司式者 このろうそくに火を灯し、今年これまでの間に、戦争の中で生きなければならなかった方々のこと、暴力によって命を脅かされ、苦しめられ、不安の中にあつた方々のことを思い起こします。

その方々が受けた苦しみを堪え忍ぶには、神様、あなたがそばにいてくださることと、あなたからの慰めと希望が必要です。

「私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」

(マタイによる福音書 28章20節)

(黙禱)

賛美歌「善き力にわれかこまれ」(『讚美歌21』469番)4節

4 主^{しゅ}は再び^{ふたたび} 日^ひの光^{ひかり}と 喜^{よろこ}びを贈^{おく}られる
望^{のぞ}みを主^{しゅ}の手^てにゆだね 来^きたるべき朝^{あさ}を待^まとう

(5本目のろうそくに火を灯す)

司式者 このろうそくに火を灯し、今年これまでに経験した数々の大変だった出来事を思い起こします。

良いこと悪いこと、嬉しいこと悲しいこと、大きなこと小さなこと、このコロナ禍の中で様々なことがありました。

この光は、神様から与えられる道を喜び、喜ばしいこともその他のことも、私たちが慰める方からの賜物として、受け取ることができるように、私たちが照らします。

「主にあつていつも喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい」

(フィリピの信徒への手紙 4章4節)

(黙禱)

賛美歌「善き力にわれかこまれ」(『讚美歌21』469番)5節

5 輝^{かがや}かせよ 主^{しゅ}の灯^{とも}し火^び われらの闇^{やみ}の中に
主^{しゅ}はわれらを導^{みちび}いて ひとつの群^むれとされる

(6 本目のろうそくに火を灯す)

司式者 このろうそくに火を灯し、今年、その命を懸けて、自由を守り、和解と平和を達成しようとして来た方々を思い起こし、暴力や差別、憎しみによらずに、生き、働いて来た方々のことを思い起こします。

力の小ささと、苦しみの中にありながらも尚、望みを失わなかった方々のために、この火は燃えています。それは多くの人々が、神様の約束に希望を置いているからです。

「あなたがたのために立てた計画は、私がよく知っている――主の仰せ。それはあなたがたに将来と希望を与える平和の計画であって、災いの計画ではない」(エレミヤ書 29 章 11 節)

(黙禱)

賛美歌「善き力にわれかこまれ」(『讚美歌21』469 番) 6 節

6 静寂だけが 広がる時 澄んだ響きを聞こう
つくられたものが歌う 絶え間ない歌声を

(7 本目のろうそくに火を灯す)

司式者 このろうそくに火を灯し、私たち一人一人を心に留め、その強さも弱さも、その不安も希望も、神様のみ前に思い起こします。

この光は、私たちが喜んでたどってきた道を照らします。

そして、これまで行かなかった道へと、私たちを導きます。

この光は輝き続け、私たちがそれぞれ、来る年も、次のように言うことができるように、私たちを励まします。

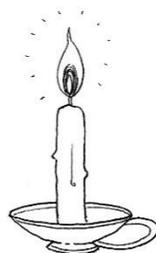
「あなたの道を主に任せよ。

主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる」(詩編 37 編 5 節)

(黙禱)

賛美歌「善き力にわれかこまれ」(『讚美歌21』469 番) 7 節

7 善き力に、守られつつ 来たるべき朝を待とう
夜も朝もいつも神は われらと共にいます。



◆お祈り

祈りは私たちの生き方を変えることができます。そのことに信頼して、共に
お祈りしましょう。

みんな 神様、私たちの祈りを聞き入れてください。

司式者 私たちの神、

私たちは今、過ぎ去ろうとしているこの1年を省み、私たちがたどっ
てきた歩みを振り返り、あなたに感謝をささげます。

私たちが経験した沢山の驚くべきことのゆえに、笑いと陽気さのゆえ
に、喜びの機会のゆえに、私たちを幸せにした瞬間、大きなこと、小さ
なことのゆえに。

どうか、私たちを助け、そのような時が、あなたから出たものである
ということをお認めさせてください。

そのような素晴らしい数々の思い出を大切にして、あなたに感謝をさ
さげることができますように。

みんな 神様、私たちの祈りを聞き入れてください。

司式者 私たちの神、

私たちはまた、過ぎ去ろうとしているこの1年に起こった悲しいこと
や、私たちの生活の中で、完成されなかったこと、達成できなかったこ
とを思い起こします。

私たちは共に旅を始めましたが、途中で別れなければなりませんでし
た。

それは誤解のゆえであったり、病のゆえであったり、死のゆえであっ
たりしました。

みんな 神様、私たちの祈りを聞き入れてください。

司式者 私たちの神、

私たちは、人生という旅路を独りで歩むことはできません。

私たちと共に旅する、旅の仲間のために祈ります。

私たちの家族が一つであるという感覚を持つことができるように、
また、お互いに大切にしているということを感じることができるように
祈ります。

とりわけ、この地において、差別や偏見、疎外に直面している方々と、

私たちが一つになることができるように祈ります。

私たちを助け、私たちが出会う見知らぬ人たちを、怖がる必要がない
ということを学ばせてください。見知らぬ人として不安に思うのではなく、
あなたがすべての人を大切にされているゆえに、その方々を支える
ことができますように。

みんな 神様、私たちの祈りを聞き入れてください。

(参照：「大晦日のメディテーション」『世界の礼拝』205-211頁)

主の祈り

せんどうしゃ
(先導者)

わたしはみんな神様の子どもです。神様に信頼して、
イエス様が教えてくださったお祈りを、共に祈りましょう。

(以下、みんなで)

てん
天におられるわたしたちの父よ、

な せい
み名が聖とされますように。

くに き
み国が来ますように。

てん おこな
みこころが天に行われるとおりに、

ち おこな
地にも行われますように。

ひ かつ
わたしたちの日ごとの糧を

きょう あた
今日もお与えください。

つみ
わたしたちの罪をおゆるしてください。

ひと
わたしたちも人をゆるします。

ゆうわく
わたしたちを誘惑におちいらせず、

あく すく
悪からお救いください。

くに ちから えいこう えいえん
国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。

アーメン。 (日本聖公会・カトリック教会共同訳)



《先週のメッセージより》12月19日 クリスマス（降誕日）礼拝

「言^{ことば}から肉へ 思いから行いへ」

岡嶋千宙伝道師

聖書：ヨハネによる福音書 1章1-14節

ヨハネ福音書 1章1-14節。クリスマスをイメージして読むと驚きます。ページェント（降誕劇）に親しんだ人ならよく知っている人物たち、イエスの母マリア、父ヨセフ、羊飼いや東方から訪れる学者など、その誰も登場しません。なにより、主人公であるイエスの名前すら記されていません。「どこがクリスマスなのだ！」と言いたくなります。淡々としていて、具体性に欠けていて、実に味気ない。

それでも、万物の初めから神と共にあった言（ことば）であるイエスが、「肉（=体を持った人間）となってわたしたちの間に宿った（=隣に引っ越して来た）」（14節）と言われ、確かに、神の子イエスがこの世に生まれたことが描かれています。だとしたら、なぜヨハネ福音書の著者は、こんなにも味気ない表現を選んだのでしょうか。理由の一つは、イエス誕生の場面の有り様を、あるいは誕生のもたらす意味を、一人ひとりに、自由に豊かに想像してもらうため、ということにあるように思えます。この記事に触れる人たちの創造性を刺激し、各自が今置かれている状況下で感じ、考え、思うことを様々に、自由に引き出す。そして、一人ひとりの「わたし」がイエス誕生の意味を「自分ごと」として振り返り、思い起こすための道筋を整える。整えられた道の先にあるのは、イエスとの出会いであり、その出会いを介して与えられる、または新しくされる、隣人たちとの出会いです。イエスの誕生を契機にして、身体をもって生きている人間同士が出会い、共に生きていくことの連鎖が、脈々と続けられてきました。イエスの誕生に触れた個々の「わたし」が、自分に与えられた出会いの意味を問い直し、イエスを中心とした新しい関係の中で生き始めていくのです。肉を持つ存在である「わたし」と「あなた」が共に生きていく。お互いに、弱さを抱え、似ているところも、異なるところもたくさん持ち合わせる者同士が共に生きていく。その喜びだけではなく、煩わしさをも、人として体現した神イエスが、生身の身体でこの世に生きたという事実。イエスを真ん中に据えて、すでに与えられている出会いをもう一度とらえ直し、新しい出会いを迎え入れる。

クリスマスはその思いを新たにされる日。イエスの誕生に触れ直し、喜びを共に味わうクリスマス。今日から始まる一日一日。与えられた命、与えられた出会いの中で、互いの手を取り、イエスに導かれて、共に歩み、共に生きていきましょう。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 12月19日 クリスマス（降誕日）礼拝

礼拝出席 大人8名 中継動画再生数 13回

献金 大人5,000円 感謝

午後には例年の「キッズクリスマス」はできませんでしたが、久宝まぶねこども園の卒園児さんたちが43人来てくれて、クリスマスプレゼントを受け取り、園庭で遊ぶ時間を持つことができました。天候にも恵まれ、同窓会のようなひと時でした。

◎次週 2022年1月2日（日）新年礼拝（降誕節第2主日礼拝）

招きの詞 ゼカリヤ書 8章 7-8節

聖書 ルカによる福音書 2章 41-52節

メッセージ 「神と人々の中に生かされて」 牛田匡牧師

賛美歌 364番(©讃委)、新生71番(©バプ連)、「住まいなく仕事なく」(©JASRAC)、礼拝はインターネットで中継いたします。

◎お知らせ

- ・12月はクリスマスの25日（土）に、日本コイノニア福祉会の4施設（久宝まぶねこども園、旭丘まぶね保育園、大阪好意の庭、第二好意の庭）から、90食のお弁当を釜ヶ崎・いこい食堂にお届けいたしました。そのために本日の礼拝後には、毎月定例の「おにぎり作り」は行いません。
- ・今年度の「クリスマス献金」を集めています。献金先は、昨年度から引き続き、「関西学院大学神学部後援会」「日本基督教団開拓伝道援助資金」「日本基督教団部落解放センター」「キリスト教在日韓国朝鮮人問題活動センター」「一般社団法人神戸国際支援機構」「生活困窮者支援（釜ヶ崎おにぎり支援を含む）」の予定です。それぞれの働きを覚えてお祈りください。
- ・先月から入院されていた さんが、退院されました。引き続きこのクリスマスの季節に、療養されている方々のために、お祈りください。
- ・新型コロナウイルスの感染を予防するためにも、また他人に感染させないためにも、そしてまた医療崩壊をさせないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。教会では換気やマスク着用など感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、教会にいらっしゃる際には、ご自身の体調にご注意いただいて、検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあげた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページからダウンロードしていただくことができます。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
1/2	牛田牧師	新年礼拝・ユウカリスト
1/9	牛田牧師	教会を考える会
1/16	岡嶋伝道師	
1/25	水谷牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援

